

## 国立大学等施設の整備

### ◆概算要求額（国立大学法人等施設整備費）

平成28年度要求額 64,314百万円(前年度 52,636百万円)

内訳：一般会計	：	63,541百万円
復興特別会計 (復興庁一括計上)	：	773百万円

[他に、財政融資資金37,934百万円(前年度41,147百万円)]

### ◆内 容

次期国立大学法人等施設整備5か年計画（平成28年度～平成32年度）策定に向けた検討の状況を踏まえ、著しく進行する国立大学等施設の老朽化に対し、安全・安心な教育研究環境の基盤の長寿命化や耐震化を図りつつ、国立大学法人等の機能強化等へ対応するため、最先端研究施設の整備や附属病院の再開発整備など、施設の計画的・重点画的な施設整備を推進する。

#### 【国立大学法人等施設整備事業】

##### ◆安全・安心な教育研究環境の基盤の整備

- 施設の耐震化（非構造部材の耐震対策含む）や老朽施設の改善
- 機能劣化の著しい基幹設備（ライフライン）の計画的な更新等

##### ◆国立大学等の機能強化等変化への対応

- 高度化・多様化する教育研究活動に対応する最先端研究施設の整備
- 地域医療・先端医療等の拠点となる附属病院の再開発整備

### ◆予定事業数

#### <一般会計>

- 新規事業 227事業（新しい日本のための優先課題推進枠要望を含む）
  - ・耐震対策（非構造部材の耐震対策を含む） 79事業
  - ・老朽化対策等 124事業
  - ・最先端研究施設の整備 2事業
  - ・大学附属病院の再生 22事業

- 継続事業等 73事業

#### <復興特別会計>

- 継続事業 1事業
  - ・災害復旧事業

# 平成28年度国立大学法人等施設整備概算要求の概要

平成27年度当初予算額  
938億円

平成28年度概算要求・要望額  
1,022億円

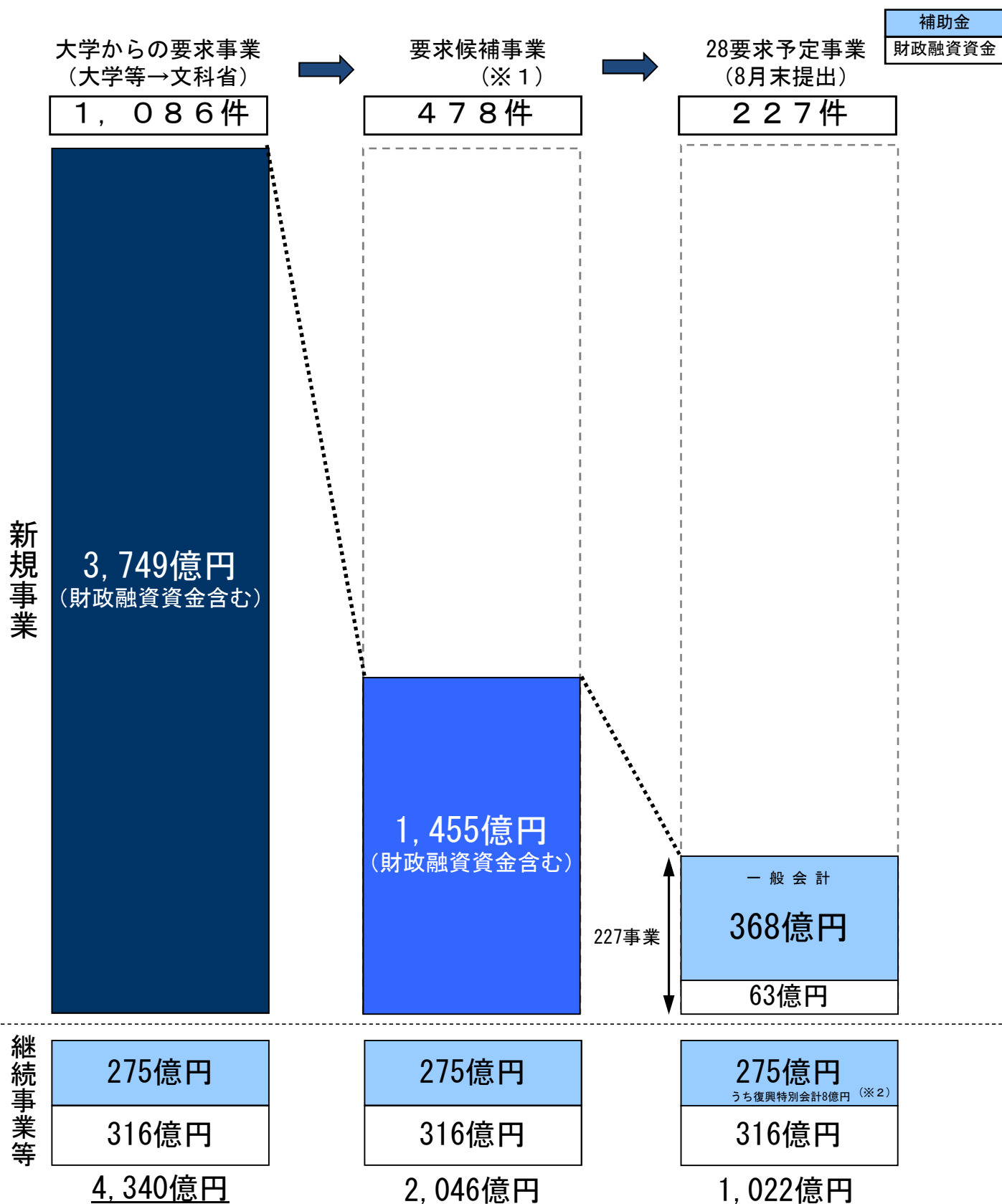
<b>財政融資資金</b> (単位：千円)	
<b><u>41,146,563</u></b>	
新規事業	7,938,153
継続事業	33,208,410
<b>施設整備費補助金</b>	
<b><u>48,690,000</u></b>	
新規事業	20,529,807
継続事業	27,715,064
災害復旧費	445,129

<b>財政融資資金</b> (単位：千円)	
<b><u>37,933,731</u></b>	
新規事業	6,321,339
継続事業	31,612,392
<b>施設整備費補助金</b>	
<b>【新しい日本のための優先課題推進枠】</b>	
要望額	<b><u>32,479,095</u></b>
<b><u>63,540,572</u></b>	
要求額	
<b><u>31,061,477</u></b>	
新規事業	4,360,951
継続事業	26,154,181
災害復旧費	546,345

<b>施設整備費補助金</b>	
東日本大震災復興特別会計	<b><u>3,946,016</u></b>
(うち復興庁一括計上：176,776)	

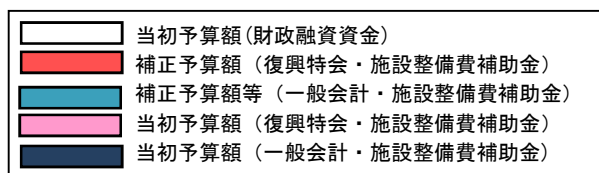
<b>施設整備費補助金</b>	
東日本大震災復興特別会計	<b><u>773,092</u></b>
(復興庁一括計上)	
継続事業	773,092

# 平成28年度概算要求の過程

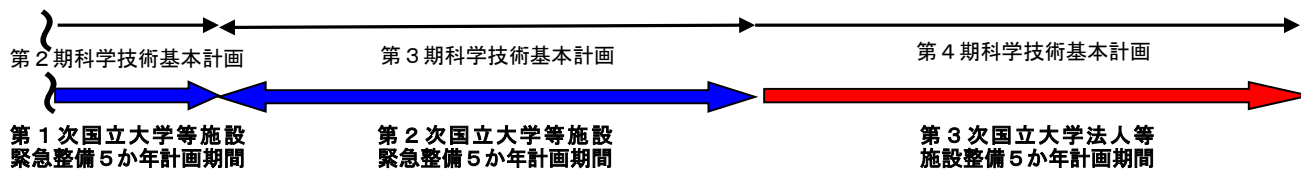
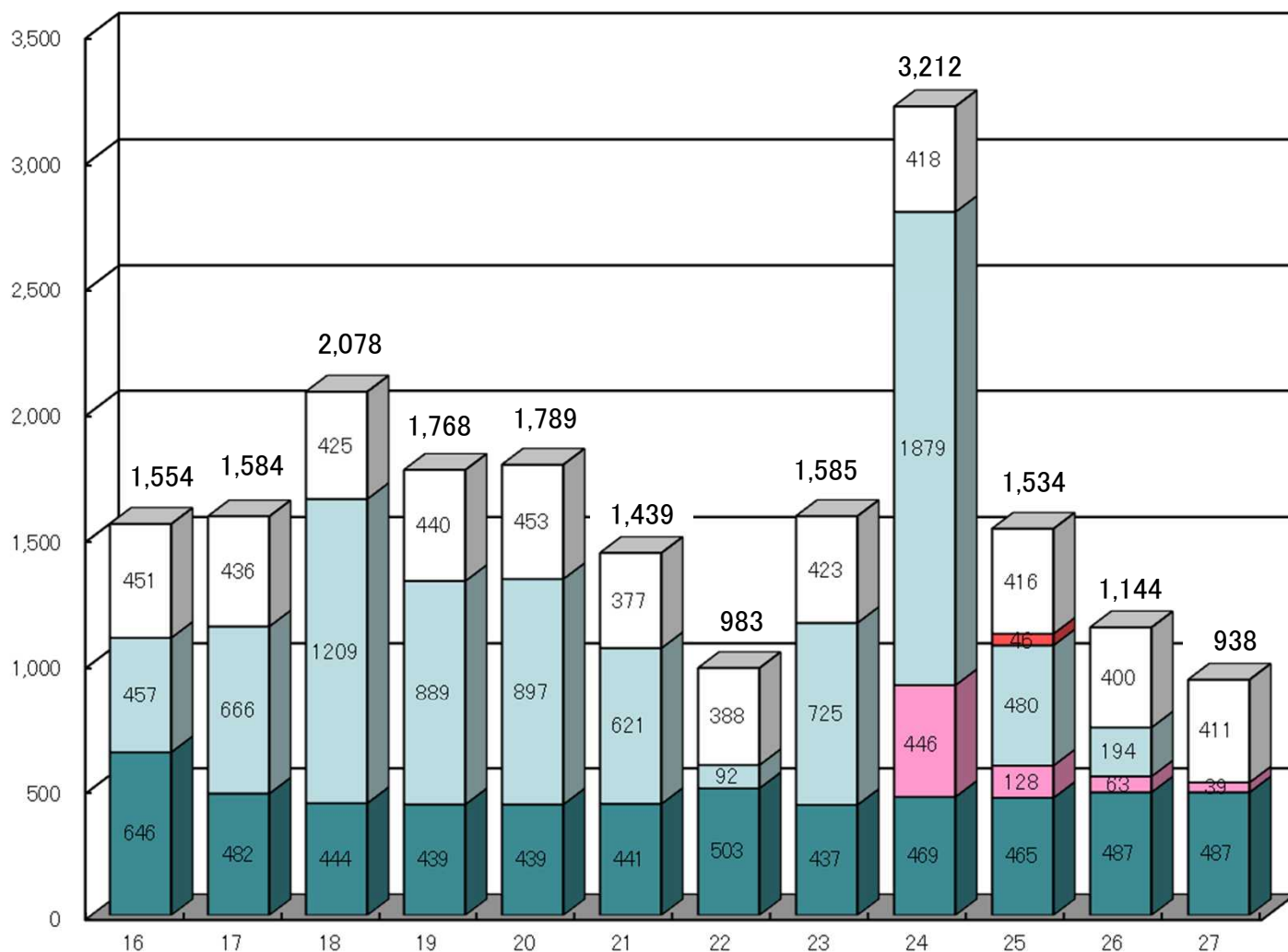


※1 学識経験者により構成される検討会において、各法人の取組、個別事業の必要性・緊急性等について適正に評価（S、A、B、Cの4段階評価）した結果、Sと判断された事業。ただし、耐震化事業については、Aと判断された事業も含む。  
 ※2 復興特別会計は復興庁一括計上分。  
 ※3 四捨五入のため合計は一致しない。

# 国立大学法人等施設整備費予算額の推移



(単位：億円)



※1 平成16年度補正予算額は、新潟県中越地震等における災害復旧費(89億円)を含む。  
 ※2 平成22年度補正予算額は、経済危機対応・地域活性化予備費使用額(41億円)を含む。  
 ※3 平成23年度補正予算額は、東日本大震災における災害復旧費(375億円)を含む。  
 ※4 平成24年度補正予算額は、2度の経済危機対応・地域活性化予備費使用額(467億円)及び補正予算額(1,412億円)の合計。  
 ※5 四捨五入により合計は一致しない。